

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2013-532206(P2013-532206A)  
 【公表日】平成25年8月15日(2013.8.15)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-043  
 【出願番号】特願2013-514181(P2013-514181)  
 【国際特許分類】

C 0 8 L 23/02 (2006.01)  
 C 0 8 K 5/5425 (2006.01)  
 C 0 8 K 5/14 (2006.01)  
 C 0 8 K 5/03 (2006.01)  
 C 0 8 K 3/04 (2006.01)  
 C 0 8 L 23/26 (2006.01)  
 C 0 8 F 255/02 (2006.01)  
 C 0 8 J 3/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/02  
 C 0 8 K 5/5425  
 C 0 8 K 5/14  
 C 0 8 K 5/03  
 C 0 8 K 3/04  
 C 0 8 L 23/26  
 C 0 8 F 255/02  
 C 0 8 J 3/24 C E S A

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A．ポリオレフィン、  
 B．加水分解性不飽和シラン、  
 C．ラジカル発生剤、  
 D．デカブロモジフェニルエタン（D B D P E）を含むハロゲン化ポリアリーールアルカン、及び

E．カーボンブラック

を含む組成物。

【請求項2】

A．前記ポリオレフィンが、ポリエチレンであり、前記組成物の21～92重量パーセント（wt%）を構成し、

B．前記加水分解性不飽和シランが、ビニルトリメトキシシラン（VTMS）、ビニルトリエトキシシラン、ビニルトリアセトキシシラン、および（メタ）アクリロキシプロピルトリメトキシシランの少なくとも1つであり、前記組成物の0.5～5wt%を構成し、

C．前記ラジカル発生剤が、過酸化物であり、前記組成物の0.04～0.15wt%を構成し、

D．ハロゲン化ポリアリールアルカンが、前記組成物の5～30wt%を構成し、

E．カーボンブラックが、前記組成物の20～45wt%を構成する、

請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

A．シラングラフトポリオレフィン（Si-g-ポリオレフィン）、

B．デカブロモジフェニルエタン（DBDPE）、及び

C．カーボンブラック

を含む組成物。

【請求項4】

臭素化難燃添加剤を含むSi-g-ポリオレフィン組成物を調製するための方法であって、加水分解性不飽和シランの少なくとも一部がポリオレフィンにグラフトするように、反応ゾーン内でグラフト条件で操作して

A．ポリオレフィン、

B．加水分解性不飽和シラン、

C．ラジカル発生剤、

D．デカブロモジフェニルエタン、及び

E．カーボンブラック

を接触させるステップを含む方法。

【請求項5】

前記反応ゾーンが、押出ゾーンを含み、シラン架橋触媒が前記反応および押出ゾーンに存在する、請求項4に記載の方法。